

(お 知 ら せ)

令和3年10月8日
航空幕僚監部

米国における航空機墜落事故の調査結果について

標記について、米空軍が公表した航空機墜落事故の調査結果の概要について、下記のとおりお知らせします。

記

1 事故の概要

(1) 日時

令和3年2月19日（金）午後4時40分（現地時間）

(2) 場所

米国アラバマ州モンゴメリー空港周辺

(3) 状況

ミシシッピ州コロンバス空軍基地所属のT-38C練習機（以下「当該機」という。）が、基本操縦課程における飛行訓練中、アラバマ州モンゴメリー空港への着陸進入時に墜落し、航空自衛隊の学生操縦士及び米空軍教官操縦士の搭乗員2名が死亡

2 事故の経過

- (1) 当該機は、現地時間の2月19日（金）午後4時4分、飛行訓練（経由地：アラバマ州モンゴメリー空港、最終目的地：フロリダ州タラハシー空港）のため、ミシシッピ州コロンバス空軍基地を離陸
- (2) 当該機は、アラバマ州モンゴメリー空港に着陸するため、滑走路への進入を開始
- (3) 教官操縦士は、進入途中、飛行経路を是正するため、旋回途中で針路の修正を指示した後、適正な速度に減速するよう指示し、学生操縦士は、減速のため、両方のエンジンの出力設定を最低出力とし、進入を継続
- (4) 教官操縦士は、当該機の過度な降下率と速度低下を認識したため、原状の回復を試みたが、当該機は降下を続け、現地時間の2月19日（金）午後4時40分、アラバマ州モンゴメリー空港の滑走路進入端から約600mの地面に衝突

3 事故の原因

(1) 主因

教官操縦士は、学生操縦士が減速のためにエンジンの出力設定を長時間最低出力にしたことへの状況認識が欠如しており、当該機が危険な状況に陥っているにもかかわらず、適切な時期に必要な措置ができなかったため、当該機を回復不能な状況にした。

(2) 副因

学生操縦士は、当該機の滑走路への飛行経路の修正操作に追われ、実施すべき事項を顧みる余裕を失っており、教官操縦士からの減速の指示により、エンジンの出力設定を最低出力のままとし、その結果、速度の低下、高度の不足及び降下率の増加をもたらし、当該機を安全ではない状況にした。

【お問合せ先】

航空幕僚監部総務部総務課広報室

連絡先：03-3268-3111（内線：60097）

FAX：03-5362-4816